

広報課からのお知らせ

テレビ テレビ和歌山 WTV

- きのくに21** 日曜 9:30・(再) 18:30
 8月 2日 林業の担い手を育成!
 8月 9日 悪質商法から身を守るために
 8月16日 耕作放棄地の再生に向けて
 8月23日 紀の国わかやま総文2021に向けて
 8月30日 知事と語る

県民チャンネル

月・火・木・金・土曜 21:55

マンスリー県政 ニュースワイド

毎月最終金曜 19:30

ラジオ 和歌山放送 WBS

県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00

※土・日曜は再放送がありません。

ラジオでお届け!県政最前線 火曜 15:40

放送内容・時間は都合で変更する場合があります。

山青し 海青し 文化は輝く

紀の国わかやま文化祭2021

第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会
 令和3年10月30日(土)~11月21日(日)

実施計画の策定

来年10月30日から県内全域で開催される「紀の国わかやま文化祭2021」の全体計画を公表しました!

大会期間中に、県、市町村や文化関係団体が実施する全136事業の概要や、大会を盛り上げるための広報計画、おもてなし計画を記載しています。

実施計画は、実行委員会HPで公開していますので、ぜひご確認ください。

来年はみなさんも本文化祭にご参加いただき、文化の魅力を存分に楽しんでください!



問 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会事務局
 ☎073-441-2417 FAX073-423-7120
 紀の国文化祭 🔍

【広告】 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032

知事メッセージ

県民の皆様へ



再生

世界中に新型コロナウイルス感染症の猛威が吹き荒れ、和歌山県も大変な影響を受け、今までうまくいきそうになっていたものが次々と打撃を受け、ここからの再生が大きな課題となりました。単にコロナの予防だけをがんばればよいというわけではありません。

それではどうやって再生をしていったらいいでしょう。

まず、コロナの収束を期待しつつ耐えるということです。このため、県では、国の施策も活用しながら、独自の支援策を広範に展開しているところです。その中でも、どん底なのは観光業ですが、何年か後には必ず日本にまた行ってみようということになります。その時、行き先は和歌山だというように思ってもらえるように我々の資産に“みがき”をかけ、PRをしておくことです。また、ずっと進めてきたインフラの整備なども、こういう時期だからこそ急いでおくべきでしょう。

第2に未来のための投資です。ロケット発射場、IRの実現、ワーケーションなど、日本の中でも一番着々と進行しているのが、実は和歌山です。これらの投資による需要と雇用創出が、コロナで痛めつけられた和歌山県を盛り返す材料になってくれることが期待されます。これらばかりでなく、各企業が取り組んできた技術開発や、経営革新、スマート農業への投資なども、和歌山県の栄養となるはずで。

第3はコロナ後の新世界です。コロナ対策であれだけ進まなかったテレワークが一挙に進みました。オンライン取引も配達サービスも飛躍的に伸びました。おそらく東京などの大都市のあんな過密で高コストの所に、すべての人材を集める愚が意識されるようになるでしょう。製造過程は、すべて中国など外国へという流れも国内へとより戻しがあるでしょう。そういった時に、この新世界に和歌山がいかに適応してチャンスをもものにできるか、これから正念場です。

コロナと戦うのと同じように困難な道のりですが、うまく歩めば、中々よい未来が待っているかもしれません。

和歌山県知事 仁坂 吉伸



手話表現紹介動画はこちらから



総合評価値 **80**

- ・古紙パルプ配合率
- ※残りは、その他の持続可能性をめざしたパルプを使用
- ・塗工量

70%以上
30g/ml以下

リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙でリサイクルできます。